

「都市地域計画論・基礎編 I/基礎編 II」 シラバス

担当：村山 顕人（都市計画研究室・准教授）
murayama@up.t.u-tokyo.ac.jp

1. 講義目的

都市空間政策の基礎（都市計画制度、都市マスタープラン・土地利用計画・地区スケールの計画の内容と策定技法）について学ぶ。

2. 講義項目

◆都市空間政策概論第 1 | 都市地域計画論・基礎編 I | 木曜日 6 限・7 限（8 コマ）

- 9/26 都市地域計画の基本
 - ・都市の構成要素と都市計画の基本的枠組み
 - ・土地利用と施設配置の計画を示す図
 - ・なぜ土地利用や施設配置の計画が必要なのか
- 10/3 日本の都市計画の歴史と制度
 - ・土地利用・施設配置計画の歴史
 - ・現行土地利用・施設配置計画制度
- 10/10 マスタープラン
 - ・圏域マスタープラン・都市計画区域マスタープラン
 - ・市町村の都市計画マスタープラン
- 10/17 持続可能な都市の形態
 - ・「コンパクトシティ」 vs. 「間にある都市」
 - ・パッチワーク・アーバニズム
 - ・様々な地区の現状と趨勢

◆都市空間政策概論第 5 | 都市地域計画論・基礎編 II | 火曜日 6 限・7 限（8 コマ）

- 11/26 地域まちづくりと都市計画・公共施設再編整備計画
- 12/3 エコディストリクト、スマート・コミュニティ、都市システム・デザイン
- 12/10 学生による事例発表
- 12/17 課題整理と討論

3. 成績評価方法

事例発表・討論への発表状況とレポートにより評価する。なお、レポートは、講義中に実施する事例発表・課題整理と討論に関わる内容とする。

【9/27 追記：「都市空間政策概論第 1」のみ、または、「都市空間政策概論第 5」のみの履修も可能とする。その場合は、成績評価やビデオ聴講の可能性について、担当教員に相談すること。】

4. 参考文献

- ・中島直人，村山 顕人，高見 淳史，樋野 公宏，寺田 徹，廣井 悠，瀬田 史彦（共著）：都市計画学：変化に対応するプランニング，学芸出版社，2018
- ・トマス・ジーバーツ著，蓑原敬監訳：「間にある都市」の思想：拡散する生活域のデザイン，水曜社，pp.89-107，2017